

## 2023 年度徳島大学研究クラスター募集要領

徳島大学 研究戦略室会議

### 1. 研究クラスターの趣旨

徳島大学では、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを理念としています。また、第4期中期目標期間において、社会の変化や SDGsの課題に対応し、持続可能でインクルーシブな社会、多様性にあふれる社会の実現に向けて本学の強みを活かし、教育・研究を充実・強化するとともに、先端医療の推進や産学官連携を通じて地域創生をリードすることを基本方針として掲げています。

これらの理念や基本方針の実現に向けた研究を推進するためには、学部や研究分野を超えた横断的研究を行うなど、大学として新たなイノベーション創出ができる環境を作る必要があります。そのため、分野を超えた複数の研究者からなる研究集団(研究クラスター)を組織し、研究費を効果的に配分するとともに、本学の理念実現に貢献できる研究を選定・支援する体制を構築することとしました。

本制度により、更なる発展が見込まれる研究や社会実装されうる研究を、重点的かつ戦略的に支援することで、効果的で社会的なインパクトの創出を目指したいと考えています。

### 2. 研究クラスターの意義、目的

地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ(令和5年2月改定)では、地域の中核大学には、「グローバルな課題への対応」と「国内の社会構造の改革」に向けて、「知と人材の集積拠点」である多様な大学等の力を伸ばし、活躍を促進するとともに、特定分野の高い研究力強化、人材育成や産学連携活動を通じた地域の経済社会、日本や世界の課題解決への貢献のために、地域中核・特色ある大学が強みを最大限に活かし、発展できるよう大学のミッション・ビジョンに基づく戦略的運営の実現が求められています。

徳島大学では、本学のミッション実現の更なる加速のために、研究クラスター制度に研究戦略の目標として、「大学間連携」、「産官学連携」、「国際連携」、「若手育成」、「研究拠点形成」を掲げ、各項目を達成するため本学の強みとして実績のある「光工学」、「免疫・慢性炎症」、「食・栄養」、「創薬・合成化学」、「がん」、「防災」※1 を重点研究領域として設定しました。また、この領域を取りまとめる PM ※2 を任命したミッション実現クラスター ※3 を設置するとともに、ミッション実現クラスターと融合し、社会実装や基礎研究の更なる推進を目指す研究課題や新たな重点研究領域の創成につながる萌芽的・独創的な研究課題をインキュベーションクラスターとして設置し、ミッションが実現することを期待しています。

#### ※1 重点研究領域「防災」

令和5年度から、将来の徳島地域における大規模災害を想定し、社会的なニーズも非常に高く、本学の特徴となり得る「防災」を重点研究領域として新たに設定するとともに、当該領域に令和4年度インキュベーションクラスターとして採択した「防災クラスター」を新たなミッション

実現クラスターとして設置。

※2 PM(プログラスマネージャー)

技術革新につながる挑戦的な研究開発を推進するためには、個々の組織に閉じることなく、優れた技術を国内外から採り入れ、より高い研究開発目標を達成することが必要となる。そのため、研究開発構想を立案し、優れた研究シーズや研究者を目利きし、分野や組織を超えて複数のプロジェクトを束ねたプログラムを編成することができる人物。

※3 ミッション実現クラスターの詳細は、

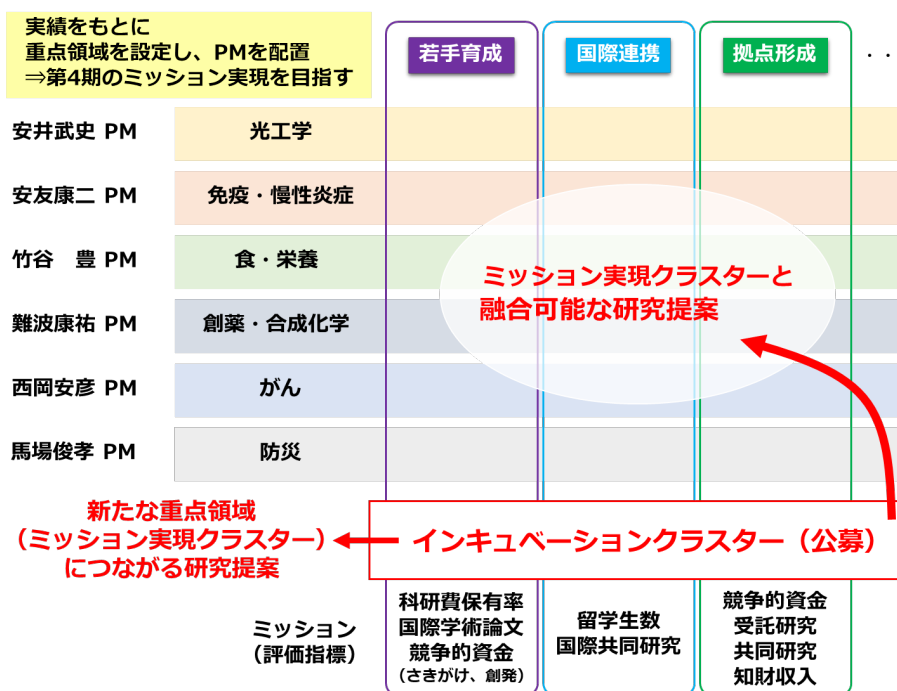
<https://cluster.tokushima-u.ac.jp/about-cluster.html> に記載

### 3. 募集研究課題

本学の理念実現に貢献できる下記の研究課題を「インキュベーションクラスター」として募集します。

- ミッション実現クラスターと融合し、社会実装や基礎研究の更なる推進につながる研究課題
- ミッション実現クラスターとは直接リンクしないが、新たな重点研究領域につながる、萌芽・独創的な研究課題

なお、応募課題の中から、卓越した研究課題であり、これまでの実績からも本学が掲げるミッションの実現が可能となる提案については、ミッション実現クラスターとして設置する場合があります。



#### 4. 支援研究費

1課題あたり、最大 3,000 千円／年

- (1) 支援研究費は、研究戦略室会議での評価により査定します。
- (2) 6つのミッション実現クラスターにつながる研究課題であると評価されたインキュベーションクラスターには、ミッション実現クラスターから若手研究者支援等の支援研究費を別途措置する場合があります。

#### 5. 支援予定件数

2023年度：新規5件程度

(注) 現時点での予定であり、申請の状況によって変動する可能性があります。

(参考)2022年度：7件を採択(応募31件中)

#### 6. 支援期間

支援決定後、2024年3月31日までとします。

(注) 継続の研究費支援の希望がある場合には、研究進捗状況を評価し、次年度の研究費を支援する場合があります。ただし、経費支援は原則として2カ年度を上限とします。

#### 7. 研究期間（登録期間）

原則として、登録した年度を含めた3カ年度とします(研究費支援の上限は2カ年度(上記6. 参照))。

#### 8. 応募資格

本学の常勤研究者であり、複数の研究室から構成される研究クラスターの代表者(研究クラスター一長)であること。

#### 9. 留意事項

- (1) 若手研究者<sup>※5</sup>や女性研究者が代表者である研究チームの応募を奨励します。
- (2) 研究分担者として異なる学部・学系等の連携・融合を原則とし、連携研究者として、他研究機関、企業等からの参画を奨励します。また、博士後期課程学生・博士課程学生を積極的に参画させることも併せて奨励します。  
(注)「徳島大学 学際的次世代研究者育成プログラム」で採択されたひかりスカラー、うずしおスカラーは、いずれかの研究クラスターに参画することが必須となっているため、当該クラスター一長は研究費支援を希望しない場合であっても、研究クラスターの登録を行ってください。
- (3) 研究クラスター一長として登録できる件数は1件としますが、研究分担者として他の研究課題への参加は可とします。

- (4) 参加するすべての研究者は、申請時まで「研究活動上の不正行為に関する研究倫理教育の実施について」※6 に定められた研究倫理教育を受講完了しておいてください。
- (5) 原則として、登録された課題については、徳島大学研究クラスターホームページ ※7 にて「研究領域」「研究課題」「クラスター長の氏名」「所属する研究者氏名」「研究概要」「研究者の役割分担」「研究期間」を公表します。

※5 博士号取得後10年以内又は同等程度の研究歴を有する者(概ね40歳未満)

※6 研究活動上の不正行為に関する研究倫理教育の実施について

<https://gakunai.sangaku.tokushima-u.ac.jp/suishin/fusei/torikumi.html>

※7 研究クラスターホームページ

<https://cluster.tokushima-u.ac.jp/>

## 10. 登録（申請）方法

別紙登録申請書に必要事項を記入し、研究・産学企画課研究企画係までメールにて提出してください。

提出用アドレス: [kskenkik@tokushima-u.ac.jp](mailto:kskenkik@tokushima-u.ac.jp)

## 11. 登録（申請）期限

2023年6月22日(木) (必着) ※登録(申請)は通年可能  
7月26日(水)

## 12. 選考方法

上記期限までに登録されたクラスターのうちから、研究戦略室会議にて下記に定める評価の観点に基づく評価を行い、インキュベーションクラスターを選定します。選定されたインキュベーションクラスターには、研究戦略室会議より、支援研究費を配分します。

## 13. 評価の観点

[評価の観点]

### (1) 研究の方向性と研究遂行能力

- (ア) 社会課題解決のため新たな知見の発見や複数の分野間での取組、新たな研究領域の開拓等を目指す、挑戦性・先進性の高い取組であること。
- (イ) 研究実施に必要な人員・組織体制が整っていること。
- (ウ) クラスター長が優れた研究遂行能力を有していること。

### (2) 大学が掲げるミッション実現に向け、大学間連携、産官学連携、国際連携、若手育成、研究拠点形成を図る課題

- (ア) 本事業の趣旨に合致した取組となっていること。
- (3) 基礎的研究も含め、研究成果を明瞭に示すことができる課題
  - (ア) 着想に至った経緯や関連する国内外の研究動向と本研究の位置付けが明確であること。
  - (イ) 競合研究(技術)と比較した際の新規性及び優位性が明確であること。
  - (ウ) 研究の目標・計画が具体的に設定され、どこまで明らかにするか明確に示されていること。
  - (エ) 過去の研究成果を活用した取組については、本研究での取組により先駆的かつ実用的なものとなることが期待できること。
- (4) その他
  - (ア) 助成期間終了後に発展的・持続的な展開と将来の大型外部資金獲得が見込めるものを優先的に評価
  - (イ) 若手研究者や女性研究者が研究代表者である課題を優先的に評価
  - (ウ) ひかりスカラー、うずしおスカラーが参画する研究クラスターを優先的に評価

#### 1 4. 支援決定後の義務

- (1) 学会発表や論文発表において、研究クラスター事業の支援を受けた旨を表記してください。

##### 【記載例】

(和文) 本研究は徳島大学研究クラスター事業の支援を受けたものである。

(英文) This work was supported by the Research Clusters program of Tokushima University.

徳島大学研究クラスターロゴマーク



<https://cluster.tokushima-u.ac.jp/news/952.html>

※学内研究者や学外組織を巻き込んで成長していく徳島大学研究クラスターのエネルギーを、「渦」をモチーフに表現。渦を構成するさまざまな色のパーツは、多様な研究分野を示しています。

- (2) 研究クラスターの成果として発表された論文については、必ず「徳島大学オープンアクセスに関する方針」(2016年1月裁定)に従い、徳島大学機関リポジトリを利用して公開するようお願いいたします。
- (3) プレスリリース、受賞、クラスター経費による研究会等開催の際には、研究・産学企画課 ([kskenkik@tokushima-u.ac.jp](mailto:kskenkik@tokushima-u.ac.jp)) への報告をお願いします。(別途、写真の提供、記事の作成等を依頼する場合があります。)
- (4) 進捗状況報告書の提出をお願いします。(2024年2月を予定)
- (5) 提出した進捗状況報告書に基づき、研究戦略室会議によるヒアリングが実施されることがあります。

## 15. スケジュール

募集期間:2023年5月22日(月)～ ~~6月22日(木) 厳守~~ 7月26日(水) 厳守

審査期間:2023年7月上旬(予定) ~~8月下旬(予定)~~

結果通知:2023年7月末まで(予定) ~~9月末(予定)~~

支援開始:2023年8月上旬(予定) ~~10月上旬(予定)~~

本募集に関し不明な点や質問等がある場合は、以下までご連絡ください。

**【お問合せ先】**

研究・産学連携部

研究・産学企画課 研究企画係

Email:kskenkik@tokushima-u.ac.jp

Tel:088-615-2339(内線:7404)

## 研究クラスターについて

徳島大学の研究の強みの明確化を目指しスタートした研究クラスター制度は、研究シーズの発掘・育成を通じた外部資金等の獲得の支援のみならず、これら成果を活用することで新たに獲得した多様な財源による研究環境の維持・向上を目標としています。また、研究クラスターで推進する研究領域及び研究者個人が、更に発展できるよう以下のような機会の創出や支援を、研究戦略室として組織的に実施しています。

### ○事業申請等を通じた大学からの重点支援

国や企業が募集する大型競争的研究資金・事業費の獲得に向けて、研究戦略室では研究クラスターのテーマをもとに提案を企画し、申請しています(成果は下記を参照)。さらに、採択された場合、より優れた成果を出し続け、また、得られた成果が活用できるよう研究環境の整備(機器の整備、共同利用、研究支援人材からの支援等)、ベンチャー育成支援を行っています。

### ○研究クラスター間の連携拡大

申請時の研究クラスターの枠組みにとらわれず、他のクラスターとのマッチング、勉強会等を通じて、さまざまな形で学内研究者との共同研究の機会が得られるよう支援しています。また、ミッション実現クラスターとの融合により、更なる成果が期待できる研究課題には、研究費を含めた若手研究者支援、研究環境整備に係る支援等も講じています。

### ○広報・アウトリーチ

全ての研究クラスターを紹介したパンフレットを発刊し、全国の大学・研究機関や企業に対して配布する形で本学の研究活動の広報を行っています。

## 研究クラスターの成果について

研究クラスターへの支援が次のような成果に繋がっています。

### ○研究拠点の形成

- ・「地方大学・地域産業創生交付金」事業「展開枠」

研究クラスターの研究テーマである「次世代光研究」を研究重点分野として位置付け、徳島県とともに共通のビジョンの下世界レベルの成果創出や地域産業への展開を目指す本事業に申請し、採択(R5年度)

- ・「JST 共創の場形成支援プログラム(政策重点分野/バイオ分野・本格型)」

研究クラスターの研究テーマである「慢性炎症研究」、「がん研究」の強みを生かして、国立循環器病研究センターが代表をつとめ、難治性心血管疾患・難治性がん・認知症・新興再興ウイルス感染症を克服できるレジリエントな社会の実現を目指す本プログラムに、参画(R2年度)

### ○大学発ベンチャーの創出

これまで支援した研究クラスターから、下記をはじめとする大学発ベンチャーが生まれ、現在も活動を続けています。

- ・株式会社 Smart Laser & Plasma Systems（平成30年）
- ・株式会社グリラス（令和元年）
- ・株式会社 SpLED（令和3年）

○若手研究者の育成

- ・ミッション実現クラスターでは、若手研究者や大学院生への研究費支援や外国人留学生の戦略的獲得に向けた支援を行っており、その成果として、若手研究者の競争的資金の獲得やポストの獲得、昇任につながっています。

※獲得につながった主な外部資金

JST「創発的研究支援事業」

AMED「革新的先端研究開発支援事業(PRIME)」

AMED「革新的がん医療実用化研究事業」

JSPS「学術変革領域研究(A)」 など

○本学の重点的事業の採択に貢献

- ・科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業(R2年度)
- ・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)事業(R3年度)  
博士後期課程学生による挑戦的・融合的な研究を支援する本プログラムの申請において、「研究クラスターを核とした学際的イノベーション人材の育成」を計画の骨子としました。
- ・国立大学経営改革促進事業(R4年度)  
国立大学の経営改革の実装を実現・加速し、社会的インパクトの創出に先導的に取り組む大学を支援する本事業の申請において、研究クラスター制度を活用した研究組織の再編や更なる外部資金の獲得額増加等を実績としてアピールしました。
- ・地域中核大学イノベーション創出環境強化事業(R4年度)  
地域の中核となる大学が、社会ニーズに即した社会貢献活動を推進するとともに、同活動を通じた投資誘発により財源多様化を促進する本事業の申請において、研究クラスター制度による支援が外部資金獲得につながっていること等を実績としてアピールしました。